

佐世保市立相浦中学校

第 1 号 2024. 04. 22

令和7年度入試 **進路だより** 文責 川口勝久



### 進路選択の時期を迎えました

3年生のみなさんの中には、上級学校についての知識もある程度あり、具体的に自分の未来をイメージしている人もいれば、「高校には行くと思う。」くらいの漠然とした思いしかなく、まだまだ自分の進路について先が見えていない人もいることでしょう。

進路を考える上でまず重要なことは、「自分が将来どのような人間になり、どのように生きていくかを考え、将来の見通しを立てながらその希望に向かって毎日努力する」ということです。進路を決めるまでの道のりでは、その都度考えるべきことやなすべきことがたくさんあります。この1年で決めたことが人生のすべてを決定してしまうわけではありませんが、「これからの人生の第一歩の踏み出し方」をこの時期に真剣に考えることはみなさんの成長につながります。

自分らしく成長できる道を見つけられるように、＜生徒―保護者―学校＞でスクラムを組んで最善の道と一緒に考えていきましょう。その一助として、「進路だより」を発行します。これをきっかけにして、保護者の方と進路について十分に話し合ってください。

全員が納得のいく進路選択ができるように、共に頑張りましょう。

### 進路選択のためには凡事徹底です

#### ①基本的な生活習慣を整える

遅刻・早退・欠席をしないこと。礼儀正しい挨拶や返事を継続して行うこと。授業を大切にすること。提出物は期限を守って必ず提出すること。自分に割り当てられている活動（係、清掃、部活動、行事等）は、責任をもって行うこと。これらをすべてに大切にすることです。また家庭では、起床・就寝時間を決め、規則正しいリズムで生活しましょう。不摂生な生活を避け、バランスの良い食事を心がけましょう。やりたいことは我慢も必要です。SNSやゲームなどで友達の時間を容易に奪わないような配慮も必要です。

#### ②学力の向上を図る

計画的に学習に取り組めます。3年生の勉強をすると同時に、1・2年生の復習もしなければなりません。また、志望校が決まったら、その学校に合わせた準備も必要になります。目標を実現するために、長期・中期・短期目標を決め、毎日のノルマを決めて学習を積み上げていきましょう。

裏面に続く

そのためには毎回の授業を大切にすることです。なんとなく授業を受けるのではなく、「自分は何がわかっているか、何がわからないのか」を意識しながら授業に臨みましょう。また、その日に授業で学んだことを、少しの時間でいいから復習することも大切です。授業を大切にしていた生徒は、進学先でも頑張っています。

### ③適性を考える

- 希望する将来の職業との関連を考えてみる。
- 自分の興味や関心、また、性格などを考えてみる。
- 日頃の学習状況を省みて学力を考えてみる。
- 自分の得意なことや好きなことを理解し伸ばす方法を考える。

自分のことをすべて理解することは困難なことです。しかし理解しようとすることはとても大切です。そこから新たな気づきが生まれることも多いものです。日頃から自分の適性について意識しておくとういと思っています。

### ④情報収集や相談を行う

- 学校案内・職業案内などの本やインターネットなどで情報を多く集める。
- 校内の掲示板や進路だよりに目を通す。
- 高校の文化祭や体育祭・学校説明会・体験授業等に参加してみる。
- 進路希望先が自分に合っているのか、学力・経済・適性などについて保護者と話し合い納得できるようにする。
- 担任への相談や連絡を適切に行う。

家族など周りの人と情報を共有し理解してもらうことで、広い視野で進路を検討しより良い選択ができる可能性が広がります。通学に無理はないか、学校生活が自分に適しているか、入学可能か、選抜方法や難易度からみて自分の学力や体力についていけそうかなどより多くの視点から検討を重ねることはとても重要です。

保護者や先生の助言を参考にして、進路先のようにすや自分の適性をよく理解した上で選択をしてほしいと思います。

また、第1希望を考えることはもちろんのこと、希望が叶わなかった場合の次善策（第2，第3希望）を考えることも大切です。最終決定は周囲の理解を得たうえで自分が行うことができたことと納得できることが大切です。